

第10回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール

優秀賞

実践報告部門

特別支援学級での金融教育

～できることから分かることまで、はじめの一步～

愛知県・碧南市立西端中学校 非常勤講師 山中みゆき

知るぽると
www.shiruporuto.jp

© 金融広報中央委員会 2013

1. はじめに

私は中学校で非常勤講師をしているが、消費生活アドバイザーとFPの資格を持ち、消費者教育や金融教育をスムーズに学校教育に取り入れたいと日々考えている。本年度、勤務校の特別支援学級で社会の授業を担当させていただくことになった。特別支援学校の教員免許を取得していない私は、はじめ何も分からず、不安がいっぱいだった。しかし実際に彼らと関わってみると、純粋な姿に心が洗われ、授業の準備や彼らとの関わりがとても楽しみになった。

ただ、このクラス6人のメンバーのレベルはまちまちであり、また、一口に社会科を教えるといっても、歴史・地理・公民と広範囲であり、様々な分野を細かく教えて理解させるのは極めて困難である。

一方で、知的障害者が本人の意思に反して高額な契約を締結するなど、障害がある人の消費者トラブルが絶えない。また、それらに関する対応は事件が発覚してからの事後救済であるか、もしくは見守りにとどまっている。

特別支援学級の生徒たちはやがて進学し、電車通学時に現金・定期券や電子マネーなど、お金を使う機会も増えるであろうし、卒業後は給与所得者になる場合が多い。電子マネーなどの「見えないお金」であれば、お金を使った実感がなく、おごったりおごられたり、いくら消費したのかわからなくなるというトラブルが懸念される。

このような状況から、新学習指導要領に掲げられた「生きる力」に直結し、かつこの可愛い生徒たちが苦い思いをしないように、お金のトラブルの未然防止の一助になることを願って特別支援学級で金融教育をやってみようと思った。

2. 現状

文部科学省によれば、特別支援学級では原則各学年に準じた指導を行うが、生徒の状況を考慮して学習していくことになっている。

前述のように、特別支援学級の生徒のレベルはまちまちで、メンバーの学年も異なる。そのため一斉に同じことを教え、理解させるのは困難であり、マンツーマン指導で2人の教員が6人、つまり1人で3人を個別に指導しているような状況である。また、学年が異なれば、通級や修学旅行などで誰かが欠け、クラス全員が集まる機会も少なくなる。

このような状況から、今年度1学期は、図書館で個々に調べ学習をしたり、街歩きをして方位や地域社会の施設を知ったり、個々のペースで日本の都道府県を調べたりしてきた。

金融教育については、2～3人しか出席者がいなかった時に、A社の幼児用教材のお金について、絵本を読みきかせたり、2つの商品のどちらかを買うと仮定し、なぜこちらを選ぶのか理由をつけて答えさせたりする程度にとどまっている(資料1)。

諸外国では金融教育は活発に行われているが、日本ではまだまだお金についての話はタブーという感が否めず、金融教育も活発ではない。昨年度12月に消費者教育推進法が施行され、金融教育を含めた消費者教育を推進する体制は整った。しかし実際に金融に関する学校教育は、まだまだモデル校中心であり、消費者教育自体念頭にない学校もあるなど、学校によって温度差がある。特別支援学級向けの教材や資料はさらに少ない。

これでは障害者が消費者被害など金銭トラブルに巻き込まれることが多いのに対し、予防的措置があまりに乏しい。そこで、特別支援学級の生徒たちが身近な問題として捉えやすい内容で「できることからはじめ、分かることまで」理解させるをモットーにお金の授業に取り組んでみた。

3. 金融教育実践事例(予定も含む)

(1) 夏休みの宿題

今年度特別支援学級の生徒たちに、夏休みに「どこで・何を・どんなお金を使って買ったか」という宿題(資料2)を課し、休み明けに発表する機会をつくった。駅で切符を買った、テーマパークでお土産を買った、スーパーで本を買ったなどの回答があった。

無駄遣いをしていないか、どんなお金(硬貨や紙幣・商品券・電子マネーやクレジットカードなど)を使ったかなど、話がいろいろな方向に進んでいくことが予想されたが、ほとんどの生徒は現金でモノを購入し、無駄遣いなどの話まで及ばず、あまり話は膨らまなかった。

モノの購入自体、理解が難しい生徒もいれば、得意げにクレジットカードを使ったと話す生徒もいた。障害や理解度が違えば、実際に生活の中でできることも、保護者らの配慮も違う。お金の計算が出来る子にはお小遣いを渡しているだろ

うし、出来ない子には、100円のパンと150円のジュースを買ってきて、とちょうど250円を渡し、買い物に行かせるなど異なる対応をしているだろう。

通常のクラスに通う児童・生徒もひとりひとり学力レベルは異なり、すべての生徒が満点を取るわけではない。そう考えれば、特別支援学級の子供たちに授業内容全てを理解させようと焦るよりも個々の生徒のレベルに合わせ、出来るところから実践し、理解できるところまで理解させていきたい。

この宿題を契機として、2学期はお金についての授業を行っていくことにした。

(2) お金についての授業 1限目「お小遣いを使ってみよう」

9月20日に、「お金について考えよう」という単元の最初の授業を行った(資料3-1)。この日は6人中2人が欠席で出席者は4人であったが、A社の教材「おかねりかいキット」を使い、1人が店員、3人がお小遣い500円をもらい、欲しいものを購入するというゲームをした。用意してあるおもちゃのお金(500円、100円、50円、10円)から500円ちょうどになるようにそれぞれの生徒に硬貨を選ばせる。500円玉1枚を選ぶ生徒もいれば、100円玉と他の硬貨を混ぜて、500円にしようと苦心する生徒もいた。お金の準備ができたなら、欲しい品物(カード)を購入させる。ぴったり500円の買い物をした生徒もいれば、欲しいものがあまりないと言い、150円分だけ買い物をした生徒も、1,000円以上買い物をした生徒もいた。

買い物をし、お金が残った場合、それは何であるのか、どこにしまうか考えさせると、「お金が余ったら財布に入れっぱなし」「貯金箱に入れる」という意見が出た。

「もらったお金(収入)で買い物(支出)をし、残ったお金は貯金箱に入れる(貯蓄)」に気づいた生徒もいる。

また、欲しいものが沢山あり、1,000円以上買い物をした生徒には、手持ちが500円しかないのだからそれ以上は買えず、どうしても欲しいものを選ぶうねと助言した。あれも欲しい、これも欲しいと再三悩んで、なかなか500円の予算内に収めることができないでいた。そんな状況から消費者教育推進法の幼児期の重点領域である「欲しいものがあつたときは、よく考え、時には我慢することをおぼえよう」という指導ができた。

(3) お金についての授業 2限目「お小遣い帳をつけてみよう」(資料3-2)

今回は6人中2人欠席で4人出席、そのうち1人は前回の欠席者であった。前回の欠席者に説明するためと復習を兼ね、もういちどお小遣いを渡し、商品を購入させるゲームをした。「お小遣い(収入)を使う(支出)と残ったお金は何か?(貯金)」という前回の授業内容を振り返らせたあと、今度はお小遣い帳をつけ、2ヶ月分(指導案では3ヶ月分)買い物をさせた。お小遣いは9月分300円、10月分500円で設定し、残ったお金は来月に繰り越すことができる。お金を使うこと自体理解があやしい生徒も、計算に苦しみ生徒も、9月分も10月分も与えられたお小遣いを丁度使いきる生徒もいる。毎回お小遣いを余らせ、「お金を貯めていつか車を買いたい」という生徒もいた。9月時点で欲しいものが多く赤字になった生徒には、10月になったらお小遣いがまた入るので、「買い物や貯金を計画的にしよう」と助言した。

「収入－支出＝貯蓄」が理解できた生徒、買い物の仕組みが少しわかった生徒、計画的なお金の使い方や欲しくても我慢することを指導できた生徒、レベルはまちまちであるが、「欲しいモノがなければ買わない・欲しいもののためにお金を貯める」という鋭い意見も出てきた。

指導案では、自給自足経済や物物交換について、商品を描いたカードを使って、必要なものを全て自分で作ったり、何度も何度も交換しなければ欲しいモノが入手できないことを説明し、それでは面倒だ、だからお金があるんだ、と交換機能・価値尺度機能を掴ませたかったが、時間が足りなくなり実施できなかった。また既にあるものをダブって買ったり、なくしたりしなければ、その分お金が節約できることや、必要なものと欲しいものの違いについて、次時以降で教えていきたい。

(4) お金についての授業 3限目「お金のトラブルを考えよう」(未実施、資料3-3)

電子マネー本体の貸し借りや、いくら使い、いくら残っているのかわからなくなるというトラブルが懸念されるなか、今後彼らが使う可能性のある電子マネーについて、「ハカセといっしょに消費者の時間へGO!」を見て、現金以外の決済手段の便利さと落とし穴について考えさせたい。また、同教材にはマルチ商法や携帯トラブルもあり、困ったときは早めに相談しよう、早めの相談が早期解決につながり、被害者を減らしたり、注意情報を提供したりできる、そんなことを伝えたい。

(5) お金についての授業 4限目「未来を考えたお金の使い方を考えよう」(未実施、資料3-4)

ESD:「持続可能な発展のための教育」として「U F Oにつかまった子供たち」を使い、消費者の行動が環境に及ぼす影響を考えさせたい。物を大切にしているか、まだ使えるものを安易に捨てていないか、自分のお小遣いだからといって、どう使っても良いわけではない、そんなことを教えていきたい。この授業ができれば、次はもっと広い環境問題にも目を向けていけるだろう。

4. 今後の課題

特別支援学級でこそお金の授業をしてみたい、そう思ってから、いろいろな研修に出向き、資料を集め、何もわからないまま指導案を作ってみた。次回の定期テストで、今回の授業内容を出题し、定着させる予定である。

4回の授業案を作り、夏休みの宿題発表も含め3回授業を行った。何が起こるかわからない、何人出席するかわからないクラスである。1時間の指導案を作っても、2回目のお金の授業のように、3分の1程度しか授業が進まない、そんなことばかりである。だからこそ、内容を詰め込みすぎず、できることを分かったところまで、定着させていきたい。

反省だらけの金融教育であったが、今後特に改善すべき課題をあげると、まず1人に注力していると、ほかの生徒が飽きてしまい、全員に1時間興味を持続させるのに苦労した。この問題に関しては、教員の連携と作業が早く終わった生徒に次の課題を与えるなどで克服していきたい。指導内容では、生徒は現在中学生であるのに、わかりやすさを追求し、ほとんど幼児期や小学生段階の教材、指導になってしまった。

今後取り入れていきたい内容として、企業、政府の役割(税金など)がある。ほとんどの生徒は、将来給与所得者になって税金を払い、公共サービスを受けるであろう。社会への貢献、働く意義について触れていきたいと考えている。

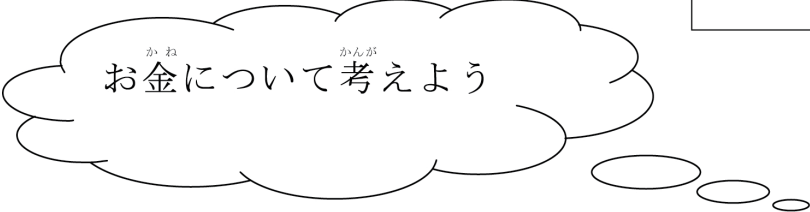
5. 終わりに

人間は生まれてから死ぬまで消費者であり、生きている限りお金と付き合う。できることなら誰もが人生を豊かにさせるお金の使い方をして欲しい。そんな思いから、やりたいと思いつながら、なかなか実現できなかったお金の授業であるが、個々の生徒の特性に合わせ授業が工夫できる特別支援学級では、彼らのペースに合わせ金融教育に取り組むことができた。どこまで理解できたのか、ずっとおぼえてくれるか不安は残るが、この授業内容を彼らが身近な問題と捉え、彼らの「生きる力」に結びついて欲しいと願う。

<参考文献>

- ・小野由美子「特別支援学校高等部における消費者教育の現状と課題～知的障害がある生徒に役立つ教材との関わりで～」、東京都消費生活総合センター「わたしは消費者」120号
<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/manabitai/shouhisha/120/1.htm>
- ・金融広報中央委員会 知るぼるとシアター「U F Oにつかまった子供たち」
<http://www.shiruporuto.jp/teach/video/theater/ufo.html>
- ・多重債務者問題からみた社会福祉のあり方研究会(おたふくけん)「上手に使う豊かな暮らしー知的障害者の金銭管理支援のためにー」2010年7月
<http://www.hi-ho.ne.jp/qol-up/yutakanakurashi.pdf>
- ・東京都消費生活総合センター「ハカセといっしょに消費者の時間へGO！」
<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/center/kyoiku/web/sien01/>
- ・公益財団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会『『見えないお金』の物語』2012年11月
- ・株式会社ベネッセコーポレーション「こどもちゃれんじ かんがえてはっけんえほん」2006年11月号

資料 1 1 学期の授業で使った資料

 <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">① <small>いま</small>今ほしいものがありますか？それはなに？</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">② どうしたら<small>ほ</small>欲しいものが手に入るかな？</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">③ <small>はい</small>入ってくる<small>かね</small>お金 - <small>つか</small>使った<small>かね</small>お金 = _____</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">④ ゲーム 1 どちらを<small>か</small>買う？</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">⑤ ゲーム 2 何を<small>か</small>買う？</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">⑥ おとしもの・なくしたものについて <small>かんが</small>考えよう</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">組 番</div>								
<p>ふりかえり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">お金の勉強<small>かね べんきょう たの</small>は楽しかったかな？</td> <td style="width: 15%; text-align: center; padding: 5px;">(^O^)</td> <td style="width: 15%; text-align: center; padding: 5px;">(^_^)</td> <td style="width: 15%; text-align: center; padding: 5px;">(>_<)</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="height: 100px; vertical-align: top; padding: 5px;">おもったこと</td> </tr> </table>		お金の勉強 <small>かね べんきょう たの</small> は楽しかったかな？	(^O^)	(^_^)	(>_<)	おもったこと			
お金の勉強 <small>かね べんきょう たの</small> は楽しかったかな？	(^O^)	(^_^)	(>_<)						
おもったこと									

資料2 特別支援学級の夏休み宿題

組 社会科 夏休み宿題

年 組 番 名前

1 今年の夏休みに行ったところを書きましょう。

県のなまえや方位（東・西・南・北）もかけるといいですね。

どこ： _____ (_____ 県) 方位 _____
たとえば・・・おばあちゃんのいえ 静岡県 ぼくのいえから 東

2 買いものをしたところと何をいくらで買ったか書きましょう。

どこで _____ たとえば ぶんぼうぐ屋さん

なにを _____ たとえば けしゴム

いくらで _____ たとえば 105円

ひゃくまん だま ごえん
百円玉と五円
だま
玉でもいいよ。

おうちの方へ

この夏休みの宿題は、2学期の社会科の学習のために役立てたいと思います。ぜひお子さんと一緒に書いてみてください。

ここに書き込んでいただいた内容は、そこがどんなところかクラスみんなで調べるためであり、宿題のためにわざわざ出かけたたり買い物をする必要はありません。また、差し支えない程度の記入でかまいません。お忙しいところ大変お手数かけますが、よろしく願います。

イラスト（著作権との関係
で表示省略）

資料 3-1 特別支援学級 社会科学習指導案①

- 1 日 時 平成 25 年 9 月 20 日 (金) 5 校時 特別支援学級教室
 2 単 元 お金について考えよう
 3 指導計画 (4 時間完了)
 お小遣いを使ってみよう … 1 時間 (本時)
 お小遣い帳をつけてみよう … 1 時間
 お金のトラブルを考えよう … 1 時間
 未来を考えたお金の使い方を考えよう … 1 時間
 4 本 時
 目 標 いろいろなお金があることを理解し、お金の使い方について理解する
 準 備 教師 … A 社の教材「おかねりかいキット」・テキスト 生徒 … 電卓
 展 開 学習課題「よく考えてお金を使おう」

時間	生徒の学習活動と内容	教師の支援・留意点と評価
0分	1 夏休みの宿題で買い物をしたことを思い出させ、発表させる。	<ul style="list-style-type: none"> 既に提出した宿題から、各人が行った購買活動について、どこで・なにを・どのように、買ったか発表させる。 クレジットカード・電子マネーなどの話が出たら、無尽蔵にお金があるわけではないことを説明。
10分	2 お金について知ろう。 ○予想される生徒の反応 ・1円しかなかったら車を買うの大変だね。 ・大根は1本で十分だよ。 ☆気づかせたい点 ・なぜいろいろな種類の硬貨や紙幣があるのか。	<ul style="list-style-type: none"> A社のテキストで硬貨や紙幣にいろいろな種類があることを説明する。 買い物をした時にどの硬貨を使ったか、発言させる。 1円しかなかったら車を買う時どうだろうか、1万円しかなかったら大根を買うときどうだろうか考えさせる。 モノには相場があることを理解させる。
25分	・価値尺度機能	
よく考えてお金を使おう		
45分	3 お買い物ゲームをしよう。 ・1人がレジ係、他はお客さんになる。 ・お客さんは500円ずつお小遣いをもらい、欲しいもの(カード)を選んで買う。 ☆気づかせたい点 ・欲しいものがあつたときは、よく考え、時には我慢することをおぼえよう。 ・収入－支出＝貯蓄(価値保存機能)	<ul style="list-style-type: none"> 「おかねりかいキット」使用。500円の予算で買い物をさせる。 生徒に合計500円になるようお金を用意させる。計算が苦手なA子には500円玉のみ、計算ができるB男には100円50円10円を混ぜるなど、理解度に合わせた選択をうながす。 使えるお金に限りがあることを理解するために、C子に欲しいものが500円を超える場合、優先順位をつけるよう指導する。 お小遣いが余つた場合、それは何か考えさせる。
	4 まとめ ・欲しいものはすべて買えるわけではない。 ・買い物をして使わなかったお金は貯めておけるね。	

資料 3-2 特別支援学級 社会科学習指導案②

- 1 日 時 平成 25 年 9 月 24 日 (火) 2 校時 特別支援学級教室
- 2 単 元 お金について考えよう
- 3 指導計画 (4 時間完了)
- お小遣いを使ってみよう … 1 時間
- お小遣い帳をつけてみよう … 1 時間 (本時)
- お金のトラブルを考えよう … 1 時間
- 未来を考えたお金の使い方を考えよう … 1 時間
- 4 本 時
- 目 標 適切なお金の使い方を理解する
- 準 備 教師 … A 社の教材「おかねりかいキット」・知るぽると「おこづかいきろく (お小遣い帳 資料 4)」
- 生徒 … 電卓
- 展 開 学習課題「必要なものと欲しいものの違いを知ろう」

時間	生徒の学習活動と内容	教師の支援・留意点と評価
0分	1 今欲しいものを発表する。	・何故欲しいのか理由を聞き、欲しいものと必要なものの整理をする。
5	2 どうしたら欲しいものは手に入るのだろう。 ☆気づかせたい点 ・現代社会ではお金が必要である。 ・お金は働いて得た対価である。 ・交換機能・価値尺度機能	・お金がない場合、物々交換で入手しようとするれば、大変煩雑であることを絵に描いて説明する。 ・A 子が理解できなければ、A 子の欲しいものを手持ちの文具と交換すると仮定して、もう一度説明する。
必要なものと欲しいものの違いを知ろう		
20	3 お小遣い帳をつけてみよう。 ・「おかねりかいキット」でゲームをしながら、知るぽると「おこづかいきろく (お小遣い帳)」に収支を 3 ヶ月分記入する。	・月に 500 円のお小遣いの範囲でやりくり、今月の目標や次月繰越も記入させる。 ・D 男には、生きたお金の使い方に気付かせるため、貯めることだけが良いのではないことも説明する。
40	4 友達のお小遣い帳はどうなっているのかな？ ・お小遣い帳を 3 ヶ月分記入し、発表し合う。	・C 子に、予算が限られていることを理解させるために、同じようなものや不要なものを買っていないか見直すように指導する。 ・無駄使いはないか、収入 (お小遣い) の範囲を超えた支出になっていないか、話し合わせる。
45	5 まとめ ・欲しいものと必要なものは必ずしも同じではないんだね。	・落とし物コーナーにあるもの、なくしたものの価値について考えさせる。 ・壊したりなくしたりしなければ、お金を無駄に使わなくて良いことに気づかせる。

資料 3-3 特別支援学級 社会科学習指導案③

- 1 日 時 平成 25 年 月 日 () ○校時 特別支援学級教室
 2 単 元 お金について考えよう
 3 指導計画 (4 時間完了)
 お小遣いを使ってみよう … 1 時間
 お小遣い帳をつけてみよう … 1 時間
 お金のトラブルを考えよう … 1 時間 (本時)
 未来を考えたお金の使い方を考えよう … 1 時間
 4 本 時
 目 標 金銭トラブル時の対応を理解する
 準 備 教師 … クレジットカード・電子マネー・商品券・ノートパソコン
 展 開 学習課題「見えないお金について考えよう」

時間	生徒の学習活動と内容	教師の支援・留意点と評価
0分	1 夏休みに買い物をしたときどうやって支払ったのだろう。 ☆気づかせたい点 ・現金以外にも支払手段がある。	・夏休みにクレジット決済で買い物をした生徒に支払い方法の話促す。
5	2 お金と同じ働きをするものには何があるのかな。 ○予想される生徒の反応 ・電車に乗るとき使った。 ・コンビニでピッとかざしていたよ。 ・スーパーで使っている。 ☆気づかせたい点 ・電子マネーやクレジットカードで無尽蔵に支払いができるわけではない。	・クレジットや電子マネーなどの利点ばかりに関心がいかないよう注意する。 ・現金以外の決済手段を実物を見せて説明する。 ・こんなものがあるという程度にとどめる。 ・お金は働いて得られることに気づかせる。
見えないお金について考えよう		
20	3 「ハカセといっしょに消費者の時間へ GO !」 “知ってる？電子マネー”を見て、設問にこたえる。 ☆気づかせたい点 ・お金の貸し借りやおごったりおごられたりするとはいけない。 ・いくら使い、いくら残っているのかわからなくなるので使い方に注意が必要である。	・現金以外にも支払いができる電子マネーなどの便利なところと落とし穴に気づかせる。 ・卒業後、電子マネーなどを使う可能性もあるので、身近な問題であることを認識させる。
45	4 まとめ ・電子マネーなど見えないお金は気をつけて使わないといけないね。	

資料 3-4 特別支援学級 社会科学習指導案④

- 1 日 時 平成 25 年 月 日 () ○校時 特別支援学級教室
 2 単 元 お金について考えよう
 3 指導計画 (4 時間完了)
 お小遣いを使ってみよう … 1 時間
 お小遣い帳をつけてみよう … 1 時間
 お金のトラブルを考えよう … 1 時間
 未来を考えたお金の使い方を考えよう … 1 時間 (本時)
 4 本 時
 目 標 持続可能な消費について理解する
 準 備 教師 … A 社テキスト・ノートパソコン
 展 開 学習課題「どうすれば未来の子供たちが困らない買い物ができるだろう」

時間	生徒の学習活動と内容	教師の支援・留意点と評価
0分	1 私たちは何を買っているのだろう。 A 社テキストの読み聞かせから、お金で買っているものを考える。 ☆気づかせたい点 ・モノだけでなくサービスや資源も買っている。 ・資源は限りあるものである。	・モノだけではなく、水や電気も購入していることに気づかせる。 ・節電や節水など、家庭で取り組んでいることはないか、体験を語らせる。
10	2 知るぼるとシアター「UFO につかまった子供たち」を見る。	
どうすれば未来の子供たちが困らない買い物ができるだろう		
35	3 感想を発表しよう。 ☆気づかせたい点 ・自分のお金だからといってどのように使っても良いわけではない。	・映像教材の内容で、どこに問題があったのか、とらえさせる。 ・発表が難しい場合、B 子には資源の使い方、E 男にはお金の使い方、F 男には両方または総括をするよう理解度にあわせ役割を分ける。 ・見ていないテレビをつけっぱなしにしたりしていないか、まだ使えるモノを捨てていないか、行動をふりかえらせる。 ・消費者の行動が環境や経済に与える影響を考えさせる。 ・環境問題に関する写真など資料を提示する。
45	4 まとめ ・資源は限りあるものだね。 ・未来の人たちが困らないような買い物をしないといけね。	・今後の行動を考えさせる。

資料 4 小遣い帳

6

月

今月の目標

今もっているおかね

円

日	なに	入った おかね	出た おかね	残った おかね	確認欄
白	(だれからもらった・何につかった)	円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白		円	円	円	
白					